

西久保八幡通信



写真 平成 20 年 8 月例大祭時

迎春

謹んで新春のお慶びを
申し上げますとともに
氏子崇敬者の皆様
のご多幸とご健勝を
ご祈念申し上げます

平成二十一年元旦

八幡神社の年中行事

平成二十一年の当八幡神社年間行事は
左記の通り予定しております。なお、八
月上旬に予定しております氏子各町会の
祭礼行事につきましてはおつて日程の詳
細をお知らせいたします。

二月三日 節分祭

二月十七日 祈年祭

六月三十日 夏越の大祓

八月上旬 祭礼行事

八月十三日 前日祭

八月十四日 中日祭

八月十五日 大祭式

十一月二十三日 新嘗祭

十二月三十一日 年越の大祓

八幡さまの信仰

我が国では太古より様々な神様を全国各地にお祀りしてきました。その中でもお稲荷さまと並んで各地に多くお祀りされているのが八幡さまです。

古くは「ひろはた」「やはた」「やわた」とも呼ばれおり、大分県宇佐市の宇佐神宮（宇佐八幡・宇佐八幡宮）が全国の八幡さまの総本宮です。そこに伝わる「八幡宇佐宮御託宣集」は、八幡さまは第十五代応神天皇（誉田別命）を神様としてお祀りする際のお名前で、欽明天皇三十二年（五七二）に三歳の童子の姿で宇佐神宮の菱形池のほとりに竹の葉の上に立って現れ、「吾は誉田天皇（応神天皇）、広幡八幡磨なり」と御託宣を下されたと伝えています。

宇佐神宮では第一之御殿に「八幡大神（誉田別命Ⅱ応神天皇）」、第二之御殿に「比売大神（三女神Ⅱ多岐津姫命・市杵島姫命・多記理姫命）」、第三之御殿に



宇佐神宮勅使門

「神功皇后（息長帯姫命）」をお祀りしていますが、全国の八幡さまでは、当社のように応神天皇の父にあたる「仲哀天皇（帶中日子命）」がお祀り

されている場合もあります。

八幡さまは多くの御託宣を下されています。中でも有名なものは、東大寺大仏建立の際に下された「われ天神地祇（全ての神様）を率い、必ず成し奉る。銅の湯を水となし、わが身を草木に交えて障ることなくなさん」という御託宣です。これにより聖武天皇は天平勝宝元年（七四九）盧舍那仏像の鑄造を無事終えました。これを機に皇室は伊勢の神宮に次ぐ第二の宗廟として宇佐神宮を崇敬し、奈良の都の守護として手向山に御分霊をお祀りしました。

また、延暦十三年（七九四）、都は平安京（京都）に遷され、その後、清和天皇即位の貞観元年（八五九）、南都大安寺の僧行教が宇佐神宮に参詣した際「われ都近く男山の峰に移座し、国家を鎮護せん」との御託宣を受け、その翌年、清和天皇の命により石清水八幡宮が創建されました。

石清水八幡宮は都の守護神、国家鎮守の神として朝廷はもとより多くの崇敬を集め、特に清和天皇の嫡流であ



宇佐神宮一の殿

る源氏は当社を勧請したといわれる源頼信の時代から八幡さまを氏神として厚く崇敬しました。その後、武家社会の発展とともに、鎌倉の鶴岡八幡宮をはじめ全国各地に八幡さまが勧請され、源氏の流れを汲む足利、徳川の両将軍家も厚く信仰しました。

また、大仏建立の際、御託宣を下されたように仏教擁護の神であり、八幡大菩薩とも称され、古くから仏教の守護神としての崇敬も集めました。

西久保周辺の地名

当八幡神社周辺の地名について少しお話ししたいと思います。

八幡神社は全国各地に数多くお祀りされているため、その区別の意味で当社はかつての地名の「西久保」を冠して「西久保八幡神社」と称することがあります。

この「西久保」という地名ですが、「西



移住したことにより名付けられたものです。

昭和五十二年（一九七七）の住居表示の変更があるまでは、氏子各町会には「西久保」を冠した町名が存在していました。当八幡神社の鎮座します虎ノ門五丁目・麻布台一丁目付近も、それまでは西久保八幡町と称していました。

また、現在の「虎ノ門」という地名ですが、皇居南方の現虎ノ門交差点付近には明治六年（一八七三）まで外郭門があり、その付近の俗称だったものが、現在の地名となっています。

地名の由来は諸説あります。「千里ゆくとも無事に千里帰る」といわれる虎にちなんだというもの。昔朝鮮から虎を連れてきたとき、その檻が大きく門柱を改造したことにちなんだというもの。付近に「虎の尾」という種類の桜の木があり「虎の尾門」が略されたというもの。また、四神思想から江戸城の右白虎の方角に当たるからとするものなど様々あります。

最後に、これも今は住居表示からは



なくなっていました。この「飯倉」という地名です。地名の由来は三説あり、一つ目は大和朝廷が直接支配をした土地である屯倉が設置された際の米穀蔵に由来するというもの。二つ目は文武天皇の御代に義倉（災害や飢饉などの際の備蓄庫）を設置したことに由来するというもの。三つ目は付近にある丸山古墳が飯を盛った形をしていることから飯座が飯倉に変わったというものなどがあります。この辺りは平安期から開けた土地であり、平安末期には伊勢神宮の御厨（荘園）が置かれていました。

丑年の出来事 丑年生まれの著名人

平成九年（一九九七）

鄧小平死去

神戸連続児童殺傷事件

消費税増税実施（3%から5%に）

ペルー日本大使公邸占拠事件突入により解決

香港が英国から返還

サッカー日本代表W杯初出場決定

北海道拓殖銀行破綻

山一證券破綻

京都議定書採択

東京湾アクアライン開通

たまごっち・ポケモンブーム

流行語に「失楽園」など

昭和六十年（一九八五）

両国国技館完成

青函トンネル本坑が貫通

ソ連ゴルバチョフ書記長就任

日本電信電話公社・日本専売公社が民営化

松田聖子と神田正輝が結婚

日本航空機が群馬県御巣鷹の尾根に墜落

夏目雅子死去

阪神、二十一年ぶりセ・リーグ優勝、日本一

流行語に「イッキ・イッキ」など

この年生まれた著名人

中嶋一貴（F1）・綾瀬はるか（女優）

宮里藍（ゴルフ）・ウエンツ瑛士（タレント）

昭和四十八年（一九七三）

ベトナムと平和協定

一ドル三〇八円の固定相場が変動相場に

振替休日制の導入

金大中事件

巨人がV9達成

この年生まれた著名人

市川染五郎（歌舞伎）・片山晋呉（ゴルフ）

宮沢りえ（女優）・石井一久（野球）

松嶋菜々子（女優）・小淵優子（政治家）

昭和三十六年（一九六二）

NHK朝の連続テレビ小説放送開始

東ドイツが東西ベルリンの境界を封鎖

柏戸・大鵬が同時に横綱昇進

この年生まれた著名人

柳葉敏郎（俳優）・石野真子（女優）

田原俊彦（歌手）・浅野温子（女優）

渡辺徹（俳優）・ダイアナ妃（英国皇太子妃）

三谷幸喜（脚本家）・中井貴一（俳優）

昭和二十四年（一九四九）

湯川秀樹、ノーベル物理学賞を受賞

日本国有鉄道、運輸省から独立

日本専売公社の公社化

国鉄三大ミステリー事件（下山・三鷹・松川）

この年生まれた著名人

村上春樹（小説家）・南こうせつ（歌手）

大竹まこと（タレント）・間寛平（タレント）

矢沢永吉（歌手）

昭和十二年（一九三七）

ヒンデンブルク号爆発事故

パリ万国博覧会開幕

盧溝橋事件

後樂園球場開場

この年生まれた著名人

森祇晶（野球）・加山雄三（俳優）

美空ひばり（歌手）・伊東四朗（俳優）

森喜朗（政治家）・緒形拳（俳優）

橋本龍太郎（政治家）

ロバート・レッドフォード（俳優）

大正十四年（一九二五）

ツタンカーメンの王墓発見

東京放送局（現NHK）がラジオ放送開始

山手線、環状運転開始

この年生まれた著名人

三島由紀夫（小説家）・豊田章一郎（実業家）

ポール・モーリア（作曲家）

橋田壽賀子（脚本家・桂米朝（三代目・落語家）

大正二年（一九一三）

チベットの独立宣言

パナマ運河開通

この年生まれた著名人

リチャード・ミルハウス・ニクソン（米大統領）

金田一春彦（国語学者・森繁久彌（俳優）

ジェラルド・フォード（米大統領）

丹下健三（建築家）

明治三十四年（一九〇二）

英国自治領オーストラリア連邦成立

マッキンリー米大統領暗殺事件

ノーベル賞が創設

ABO式血液型の発見

この年生まれた著名人

佐藤栄作（政治家）・昭和天皇（通宮裕仁親王）

ゲイリー・クーパー（俳優）

円谷英二（映画監督）・ウォルト・ディズニー

平成二十一年の厄年

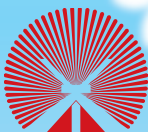
	前厄	本厄	後厄
男性の厄年	24才 昭和61年生 とら	25才 昭和60年生 うし	26才 昭和59年生 ねずみ
	41才 昭和44年生 とり	42才 昭和43年生 さる	43才 昭和42年生 うま
	60才 昭和25年生 とら	61才 昭和24年生 うし	62才 昭和23年生 ねずみ
女性の厄年	18才 平成4年生 さる	19才 平成3年生 ひつじ	20才 平成2年生 うま
	32才 昭和53年生 うま	33才 昭和52年生 へび	34才 昭和51年生 たつ
	36才 昭和49年生 とら	37才 昭和48年生 うし	38才 昭和47年生 ねずみ

厄年に当たる年は、肉体的・精神的に節目の年齢に当たります。お祓いをして新たな引き締まった気持ちで一年を過ごしましょう。

伊勢神宮式年遷宮

平成二十五年に伊勢の神宮において二十年に一度の式年遷宮が執り行われます。式年遷宮は千三百年の間変わることなく六十二回にわたり受け継がれている我が国の伝統文化です。

式年遷宮という伝統文化の継承にご理解とご協力をお願いを申し上げます。



遷宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

発行者 八幡神社

平成二十一年一月一日発行
東京都港区虎ノ門五・十一・十四
〇三・三四三六・二七六五
<http://www.hachimanjinja.or.jp>